

BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE
CLUB PAMPHLET



JUKA SOEJIMA

自分を超える、超えてみせる

次は君たちの番だ



未来を、心を、動かす。

びわこ成蹊スポーツ大学

BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE

〒520-0503 滋賀県大津市北比良1204番地

TEL. 077-596-8446 (スポーツ統括課)

URL. <https://biwako-seikei.jp> (大学ホームページ)

<https://bss-nyushi.jp> (入試ナビ)

※在学生の学年表記は、2025年度のものです。



未来を、心を、動かす。

index

04	特集 陸上競技部
06	女子ハンドボール部
07	硬式野球部(男子)
08	男子サッカー部
09	クラブ紹介
14	学生紹介 (スポーツに対する様々な関わり)



陸上競技部の 躍進が 止まらない!

これまで関西で男子1部下位に低迷していた陸上競技部が、2024年度関西インカレで数多くの種目で入賞を果たし、男子1部総合5位の好成績をおさめました。男子110mハードルで1位、2位のワン・ツー・フィニッシュや、華の4×400mリレー競技では準優勝。またフィールド部門でもハンマー投げなどで優勝を飾ったこともあり、団体表彰で上位に迫る活躍を見せました。2022年度に投擲部門、2023年度から短距離部門に専門のコーチを招聘し、より細かな指導体制を構築したことで、多くのパートで選手が結果を残す大会となりました。2025年度は、関西学生インカレで団体3位が目標! 167名の部員が一丸となり、大記録を目指します!

関西インカレで大健闘

近年、全国大会入賞者数を更新し続けている陸上競技部。各パート毎に指導者を招聘し、充実した指導体制のもとで日々の練習を行っている。目標は関西インカレ「総合優勝」。

2024年度関西インカレ個人表彰

【 400m 】	2位	森 貴太
【 110mH 】	1位	木下博翔
	2位	太田彪真
【10000mW】	3位	平賀丈也
【4×400mR】	2位	森 貴太
		藤澤龍吾
		服部右夢
		川北脩斗
【 走高跳 】	2位	富田惇史
【 棒高跳 】	3位	甲斐楽海
【 走幅跳 】	3位	倉 凌雅
【 砲丸投 】	2位	小椋太智
【 円盤投 】	2位	足立琉希

スローガン

「関西インカレ「総合優勝」」

陸上競技部 部員数

167名



2025年度新主将



倉 凌雅 (4年)

種目: 三段跳
出身高校: 兵庫県
報徳学園高等学校

GRADUATE 卒業生

東京2025世界陸上 競歩 日本代表



丸尾 知司氏

(2013年度卒業生)
所属: 愛知製鋼株式会社 陸上競技部

2025年9月13日から21日に開催される「東京2025世界陸上競技選手権大会」において、男子20km・35km競歩の日本代表に選出されました。丸尾選手は、2017年ロンドン大会、2023年ブダペスト大会に続き、今回が3度目の世界選手権出場となります。
日本開催の大舞台で、再び世界に挑むその姿に、大きな期待が寄せられています。

PICK UP PLAYERS 注目選手



副島 珠華 (3年)

種目: 三段跳
出身高校: 福岡県
福岡大学附属若葉高等学校



藤澤 龍吾 (4年)

種目: 短距離
出身高校: 京都府
京都共栄学園高等学校

LEADERS 指導者



陸上競技部 部長
中・長距離・競歩コーチ

渋谷 俊浩

全日本学生陸上対校選手権大会優勝や箱根駅伝の区間賞、びわこ毎日マラソン優勝・福岡国際マラソン優勝などの競技実績を残し、現在も長距離パートを指導。



陸上競技部 総監督
短距離・障害・投擲コーチ

石井田 茂夫

日本パラ陸連強化委員、日本陸連U19強化育成副部長・副統括を歴任。前任の高校では、短距離・跳躍・混成・投擲種目で数多くの入賞と延べ25回の全国優勝に導いている。



陸上競技部 監督
短距離コーチ

安井 章泰

2024年4月就任。2001年世界選手権100m・200m日本代表にも選出された実力者。指導者としても、400m Rで滋賀県勢女子として34年ぶりの全国IH出場へ導く手腕をもつ。



陸上競技部 副部長
跳躍・混成コーチ

岡部 優真

学生・実業団を通して、三段跳国内主要大会で優勝を経験。指導者としても、走幅跳・三段跳・走高跳・混成競技で数多くの全国大会入賞者を輩出している。



陸上競技部
投擲アシスタントコーチ

佐野 拓人

砲丸投日本インカレ入賞者。日本GPシリーズ2023水戸招待陸上にて滋賀県記録を更新する実力者であり、現在も競技者としても活躍中。



全国大会 ベスト8

2024年度全日本学生ハンドボール選手権大会(インカレ)において、初のベスト8となりました。

女子ハンドボール部は、インカレ前に行われた西日本学生ハンドボール選手権大会で第3位になったことで早々にインカレの出場権を獲得。インカレ1・2回戦では、前半こそ苦戦する場面もありましたが、後半に実力を発揮し、創部初の準々決勝に駒を進めました。準々決勝の対戦相手は、昨年度の同大会で敗戦した筑波大学。リベンジに燃えましたが、序盤からリードを許し、その点差が最後まで続き惜しくも敗戦し、ベスト8で本大会を終えました。創部から5年でインカレベスト8まで上り詰めた女子ハンドボール部の今後の活躍に期待が高まります。

2年連続インカレ出場

試合結果	1回戦: 本学 34-24 法政大学 (勝)
	2回戦: 本学 38-27 九州産業大学 (勝)
	3回戦: 本学 23-35 筑波大学 (負)
	(準々決勝)

女子ハンドボール部
部員数 27名

大会成績

関西ハンドボール春季リーグ戦
(1部) 7位

女子第54回
令和6年度西日本学生
ハンドボール選手権大会 3位

関西ハンドボール秋季リーグ戦
(1部) 5位

高松宮記念杯女子60回
令和6年度全日本学生ハンドボール
選手権大会 ベスト8

スローガン

己を信じ、仲間を信じ、相手を敬い、全力を尽くす

LEADERS 指導者



女子ハンドボール部
監督
池本 聡

大阪体育大学男子ハンドボール部コーチを皮切りに、全日本実業団選抜監督、日本リーグでの監督などを歴任。2022年に本学女子ハンドボール部を初めて1部昇格に導く。

2025年度 新コーチ就任
女子ハンドボール部 コーチ
西村 純

1985年から、京都府立桂・洛北・田辺高等学校のハンドボール部監督として指導を行い、全国選抜大会・インターハイ・国民体育大会に導いている。2022年には、洛北高校女子ハンドボール部を指導し、全国選抜大会と国民体育大会の二冠を達成している。



夢の 全国へ

硬式野球部(男子)は2024年京滋大学野球連盟秋季リーグ戦(1部)で、9勝4敗勝ち点4で2位となりました。

敢闘賞を受賞した新川朝耶選手(2024年度卒業生)や、管原洸太選手(2024年度卒業生)や伊藤兵梧郎選手(3年次生)が中心となり、創部初の優勝まであと一歩という悔しい結果となりました。

この悔しさをバネに2025年度のリーグ戦で雪辱を果たし、悲願の神宮大会初出場を目指します。

京滋野球連盟秋季リーグ戦準優勝

昨年度、秋季リーグ戦で惜しくも準優勝となった硬式野球部(男子)。年々着実に力をつけてきており、今シーズンは悲願の神宮出場に期待がかかる。

硬式野球部(男子)
部員数 180名

大会成績

2024年度京滋野球連盟
春季リーグ戦 4位

2024年度春季リーグ戦ベストナイン
三塁手 辻 英盟(3回生)
外野手 佐藤 巧太(4回生)

2024年度京滋野球連盟
秋季リーグ戦 準優勝

2024年度秋季リーグ戦ベストナイン
外野手 伊藤 兵梧郎(3回生)

スローガン

京滋リーグ優勝・神宮出場

2025年度新主将



小澤 飛亜 (4年)

出身高校: 大阪府
大阪府立汎愛高等学校

LEADER 指導者



硬式野球部
監督
山田 秋親

元プロ野球選手。パ・リーグの福岡ソフトバンクホークスや千葉ロッテマリーンズで投手として活躍。2016年の現役引退後、2017年本学硬式野球部コーチに就任。



天皇杯出場

2024年5月、天皇杯滋賀県代表を決める「第29回滋賀県サッカー選手権大会(滋賀FA CUP)」が布引グリーンスタジアム(東近江市)で行われ、本学男子サッカー部がJFLで活躍するレイラック滋賀FCを2-1で破り、3年ぶり7回目の天皇杯本戦出場を決めました。緊迫した試合は両者譲らず延長戦に突入。前半13分に左サイドを崩され相手に先制点を許す展開となりましたが、延長後半すぐに同点に追いつきました。その後はGKのファインセーブなどもありPK戦にもつれ込むかと思われましたが、120分+アディショナルタイム4分に、左サイドで獲得したスローインを途中出場の⑩青山がロングスロー。ゴール中央まで届いたボールを④木津が頭で叩き込み、劇的な逆転勝利により本戦への出場権を獲得しています。

7回目の天皇杯出場

男子サッカー部は、サッカーを通じて、部員全員が心身両面の成長を追求し、大学・地域・社会の発展に貢献することを目指している。また、地域から愛される強いクラブになるために、クラブの存在意義を高め、常に挑戦し続けている。

男子サッカー部
部員数 315名

大会成績

第102回関西学生サッカーリーグ
1部 12位

第29回滋賀県サッカー選手権大会
優勝

天皇杯 JFA 第104回
全日本サッカー選手権大会 出場

スローガン

No Football, No Life

LEADERS 指導者



男子サッカー部
総監督

望月 聡

Jリーガーを経て、サッカー日本代表(なでしこジャパン)コーチに就任。2011年FIFA女子ワールドカップドイツ大会で優勝し国民栄誉賞を受賞。2012年ロンドンオリンピック準優勝。



男子サッカー部
監督

石間 寛人

本学サッカー部出身で卒業後は、JFLでの選手経験をを経て本学男子チームコーチに就任。2022年度に関西選抜監督に抜擢され、第37回デンソーカップチャレンジサッカーでは優勝に導いた。

2025年度新主将



青木 暦央人 ④年

出身チーム：横浜FCユース

CLUB ACTIVITIES

各クラブ紹介

女子サッカー部

スローガン

「Do my best」

大会成績

第53回関西女子サッカー選手権大会
(皇后杯県予選)優勝(3連覇)

2024年度関西学生女子サッカー
春季リーグ(1部)7位

2024年度関西学生女子サッカー
秋季リーグ(1部)5位

2025年度新主将

上永 ひかり ④年

出身高校：福岡県
東海大学付属福岡高等学校

近年、着実に実力をつけ1部に定着。2024年シーズンはチーム一丸となり過去最高の1部5位という成績で、インカレ出場まであと一歩だった女子サッカー部。2025年シーズンこそは悲願のインカレ出場を目指す。

WOMEN'S FOOTBALL

部員数 36名

女子バレーボール部

スローガン

「捲土重来」

大会成績

2024年度関西大学バレーボール
連盟春季リーグ戦(3部)優勝

2024年度関西大学バレーボール
連盟秋季リーグ戦(2部)7位

2025年度新主将

中塚 妃奈乃 ④年

出身高校：大阪府
東海大学付属大阪仰星高等学校

2024年シーズン、春季リーグ戦で2部リーグに昇格したものの、秋季リーグ戦で降格してしまった女子バレーボール部。再びあの舞台で活躍できるように春季で2部昇格、秋季で2部上位進出を目指し戦う。

WOMEN'S VOLLEYBALL

部員数 29名

女子バスケットボール部

スローガン

「On the same page」

大会成績

2024年度関西女子学生
バスケットボールリーグ戦(2部)
8位

2025年度新主将

原 愛翔 ④年

出身高校：長崎県
鎮西学院高等学校

年々順位を上げてきている女子バスケットボール部。悲願の1部昇格を目標に、日々の活動で部員同士が切磋琢磨しながら練習している。

WOMEN'S BASKETBALL

部員数 38名

硬式野球部(女子)

スローガン

**「大学選手権ベスト4、
ラッキーリーグ1部昇格」**

大会成績

第14回
全日本大学女子硬式野球選手権
和歌山大会 2024 出場

関西女子硬式野球リーグ
ラッキーリーグ 3勝3敗

2025年度新主将

竹内 すず ④年

出身高校：京都府
京都両洋高等学校

2024年シーズンから部に昇格し、活動を続けてきた硬式野球部(女子)。部員数の増加とともに公式戦にも出場し、今後の飛躍に期待がかかる。

WOMEN'S BASEBALL

部員数 19名

CLUB ACTIVITIES

各クラブ紹介

男子バスケットボール部



大会成績

2024年度関西学生バスケットボールリーグ戦(2部)5位

優秀選手賞 岩波 湊人
(4回生)

2025年度新主将

山本 将大 ^{③年}

出身高校: 石川県
北陸学院高等学校

2024年シーズンは下級生中心でありながらも2部リーグの上位をキープした男子バスケットボール部。

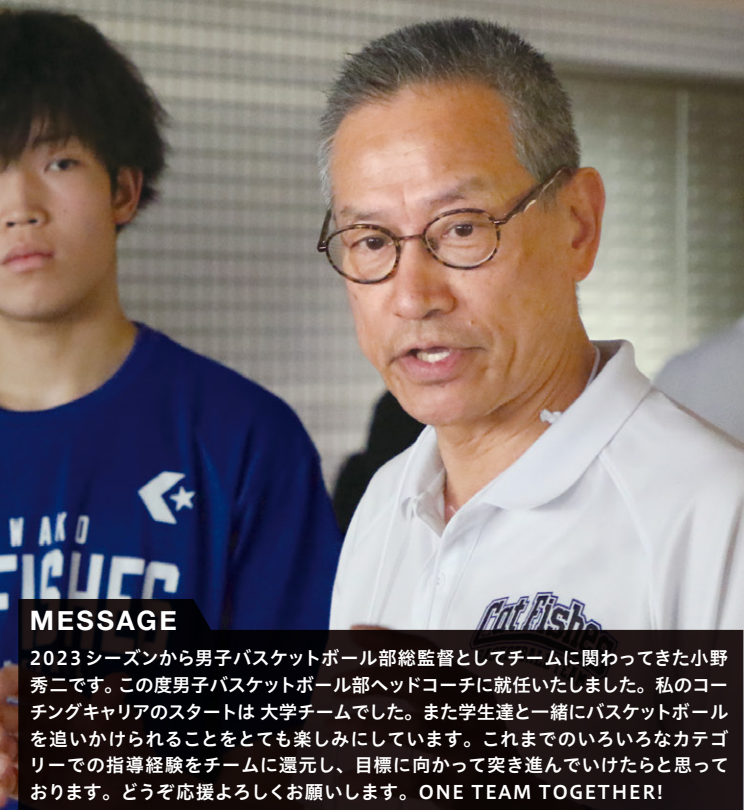
その経験を糧に、2025年シーズンこそは1部リーグ昇格を目標に、挑戦者として常に高みを目指し続ける集団を目指す。

MEN'S BASKETBALL

部員数 89名

スローガン「Challenger」

びわこ成蹊スポーツ大学 男子バスケットボール部 ヘッドコーチに就任



MESSAGE

2023シーズンから男子バスケットボール部総監督としてチームに関わってきた小野秀二です。この度男子バスケットボール部ヘッドコーチに就任いたしました。私のコーチングキャリアのスタートは大学チームでした。また学生達と一緒にバスケットボールを追いかけられることをとても楽しみにしています。これまでのいろいろなカテゴリーでの指導経験をチームに還元し、目標に向かって突き進んでいけたらと思っています。どうぞ応援よろしくお願いします。ONE TEAM TOGETHER!

これまで本学男子バスケットボール部総監督であった小野秀二が2025シーズンからヘッドコーチに就任。男子バスケットボール部の本格的な競技力強化がスタートします。
これまで B.LEAGUE (B2) のバンビシャス奈良のヘッドコーチを務める傍ら、本学への助言やスカウトなどで競技力強化に関わっていましたが、長年にわたり日本のバスケットボール界を牽引してきた豊富な経験と戦略眼により、今後は更に選手の育成とチームの強化に尽力していただきます。
チーム結成後初の1部昇格へ、そして将来的にはインカレ出場を目標に掲げ、男子バスケットボール部は新体制のもとで挑戦を続けます。小野ヘッドコーチは 2025年6月開幕の75回西日本学生バスケットボール選手権大会からチームに合流し、指揮をとります。新生・びわこ成蹊スポーツ大学男子バスケットボール部に、ぜひご期待ください。

LEADER 指導者

小野 秀二

1958年1月31日生まれ。秋田県出身。

<コーチ歴>

1988-01 愛知学泉大学男子バスケットボール部 監督
2000-05 トヨタ自動車アルパルク ヘッドコーチ
2005-13 日立サンロッカーズ ヘッドコーチ
2014-17 アースフレンズ東京Z ヘッドコーチ
2018-20 秋田県立能代工業高校(現:能代科学技術高校) ヘッドコーチ
2021-23 大阪エヴェッサアカデミー校長兼U15ヘッドコーチ
2023 バンビシャス奈良(B2) アドバイザリーコーチ
2023-25 バンビシャス奈良(B2) ヘッドコーチ
2023-24 びわこ成蹊スポーツ大学 男子バスケットボール部 総監督
2025- びわこ成蹊スポーツ大学 男子バスケットボール部 ヘッドコーチ



MEN'S VOLLEYBALL

部員数 66名

スローガン「今に徹せよ」



男子バレーボール部

大会成績

関西大学バレーボール連盟
春季リーグ戦(1部)11位

関西大学バレーボール連盟
秋季リーグ戦(1部)12位

2025年度新主将

西條 涼 ^{④年}

出身高校: 滋賀県
比叡山高等学校

2024年シーズンの秋季リーグ戦で2部に降格してしまった男子バレーボール部。

2025年シーズンのスローガン「今に徹せよ」を念頭に春季リーグで1部リーグへ再昇格を目指す。

SPECIAL FEATURES

スポーツを継続する卒業生



日立製作所野球部 投手

新川 朝耶 (2025年3月卒業)

大学でピッチャーに転向後、才能を開花させ、最速154キロのストレートを武器とし、4年次生の秋季リーグ戦ではチームを準優勝に導き、個人でも敢闘賞を受賞。実業団での実績を積み重ね2年後のプロ入りを目指しています。



東京グレートベアーズ リベロ

五頭 寛大 (2025年3月卒業)

在学中であった2023シーズンに東京グレートベアーズのトライアウトを経て契約を締結。2024シーズンもプロ選手として活動しました。持ち前のレシーブ力で試合にも出場し、個々の技術を高めるとともに勝利に貢献しています。



SAGA久光スプリングス 球団スタッフ

原田 博子 (2025年3月卒業)

在学時には女子バレーボール部に所属し、主将兼主務としてチームを牽引。女子バレーボール部を関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦(3部リーグ)で全勝優勝を果たし、2部リーグ昇格を果たしました。

CLUB ACTIVITIES

各クラブ紹介

男子ハンドボール部



スローガン

「己を信じ、仲間を信じ、相手を敬い、全力を尽くす」



2025年度新主将
八木 優人 (4年)

出身高校：滋賀県
近江兄弟社高等学校

学年に関係なく、お互いに高め合い、お互いがお互いのことを想い合えるチーム。2部リーグで着々と実力をつけてきており、2025年シーズンこそは1部リーグ昇格を目指す。

MEN'S HANDBALL

部員数 30名

水泳部(競泳)



スローガン

「湖勢」



2025年度新主将
野村 恒海 (4年)

出身高校：京都府
京都外大西高等学校

水泳を通して、競技力・人間力を向上し、「社会に求められる人材に成長する」ことを目指している。2025年シーズンは関西学生選手権男子1部昇格・女子1部残留を目指す。

SWIMMING

部員数 28名

水泳部(水球)



スローガン

「関西学生選手権3連覇・
日本学生選手権ベスト8」



2025年度新主将
北 怜真 (4年)

出身高校：石川県
金沢市立工業高等学校

毎年インカレに出場を続ける常連校となった水泳部(水球)。全国大会で結果が残せるよう、日々の練習で意識を高め取り組んでいる。

WATER POLO

部員数 17名

卓球部



スローガン

「3度目の正直!!」



2025年度新主将
日高 将之 (4年)

出身高校：兵庫県
滝川第二高等学校

男子は、2025年こそは2部昇格を果たせるようチーム一丸で取り組んでいる。女子は2025年シーズンから団体戦に出場することになり、初出場で4部優勝&3部昇格を目指す。

TABLE TENNIS

部員数 12名

テニス部



スローガン

「世界一テニスを愛するチーム」



2025年度新主将
霜島 優太 (3年)

出身高校：兵庫県
神戸野田高等学校

テニスを通して多くの失敗と成功を積み重ねながら挑戦している。部員数は少ないが、協力し合い活動をしている。

TENNIS

部員数 5名

柔道部



スローガン

「関西学生選手権優勝」



2025年度新主将
田中 悠時 (4年)

出身高校：滋賀県
綾羽高等学校

学内活動以外にも出稽古など、日々の鍛錬をし続ける柔道部。すべては関西学生選手権で優勝するために、学生としても模範となる行動を心がけている。

JUDO

部員数 6名

アルティメット部



スローガン「男子:学生選手権優勝
女子:学生選手権ベスト4」



部員数 14名

体操競技部



スローガン「Our best is your best.
(チームの成功が最大の喜び)」

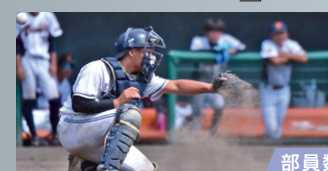


部員数 9名

軟式野球部



スローガン「全員野球」



部員数 13名

フットサル部



スローガン「一致団結」



部員数 12名

ソフトテニス部



スローガン「自由気ままに楽しむ」



バドミントン部



スローガン「バドミントンを楽しみ、
人間性を磨く」



部員数 7名

ラグビー部



スローガン「Hard work」



CIRCLE ACTIVITIES

サークル・同好会

本学では部活動とサークル活動を両立することができます。
競技スポーツだけではなく様々な関わり方で学生生活を楽しもう!

BSSCトレーナーチーム

将来アスレティックトレーナーなどを目指す学生が集まり結成。スポーツ外傷や障がいなどの専門知識とスキルを身につけるため勉強会に取り組んでいる。

ゴルフサークル

自主トレーニング以外でも専門の指導者に定期的にレッスンをしていただいている。大学からゴルフを始めたい方、大歓迎!

空手サークル

武道の一つである伝統の空手。怖いという格闘技のイメージを払拭するために、真剣かつ楽しく取り組んでいる。初心者や楽しく学びたい人には、護身術や映画のアクションから学ぶ活動もしている。

BSSC eスポーツサークル

eスポーツに対する理解を深めるための勉強会を定期的に開催。日韓大学生交流イベントやサンガスタジアムなどでの交流イベントの企画や学外大会などに参加している。

ダンスサークル

ダンスを踊るうえで重要である「コミュニケーション」や「自己表現」を大切に、仲間と切磋琢磨しながら活動をしている。

びわスポ身体操法研究会

明治維新以前に日本で行われていた武術の総称である「古武術」を体験している。スポーツを行う前に「動く身体」を身につけることで本来持つ力を効果的に発揮し、日常生活や競技レベルの向上を目指す。

ボディメイクサークル

「筋肉」をキーワードにトレーニング好きメンバーが集結し、日々トレーニングを実施。食事管理などをメンバー間で切磋琢磨し、大会出場を目指す。

びわスポ ベンチャーサークル

本学主催ビジネスプランコンテストに応募した学生のアイデア実現を目的に設立。初年度は長浜文化スポーツ振興事業団と連携し、長浜伊香ツインアリーナを会場として、スポーツイベントの企画・実施を行った。

ボランティアサークル

児童へのスポーツ教室での指導や地域のイベントサポートなどを通じて地域貢献を行っている。2024年度は石川県で発生した震災などに対するボランティア活動を企画から行い、現地で復興支援を行った。

アウトドアスポーツサークル

琵琶湖周辺の山や湖などの自然環境を利用してロードバイク、SUP、ウインドサーフィン、スキーなどのアウトドアスポーツ活動を行っている。各競技のイベントやレースなどに参加したり自ら企画して冒険活動なども行っている。

広報サークル

学内および大学周辺での本学学生、教員の活動をSNSなどを用いて情報発信を行っている。日々、取材・記事作成を行うとともに、定期的な勉強会を実施している。



SUPPORT POSITION

スポーツに対する 様々な関わり

男子バスケットボール部 コーチ

穂上 太郎 ④年

出身高校：兵庫県
尼崎市立尼崎双星高等学校

これまでヘッドコーチのコーチングをサポートするためにビデオ分析などを行ってきました。今シーズンは現場の采配をするチャンスもいただき、勝敗に繋がられるようにライセンスも取得し、コーチングの勉強も欠かさず取り組んでいます。将来、B.LEAGUEのコーチとなれるよう、ラスト1シーズンを大切に、貴重な経験を積んでいきたいと思っています。

COACH

男子バレーボール部 アナリスト

野村 ひより ②年

出身高校：京都府
京都府立朱雀高等学校

大学では選手としてスポーツに携わるのではなく、支える側でスポーツに携わりたいと思い、アナリストになりました。普段の練習時のスパイク決定率やレシーブ返球率などのデータ分析。試合時は自チーム、対戦チームのデータ分析、次戦の他チームのデータ分析を行っています。試合後に選手から「事前のデータのおかげでここまで戦えた！ありがとう！」と言って貰え、とてもやりがいを感じました。これからもチームの勝利のために、データ分析の更なる上達、そして、選手に求められる以上のものを選手に届けられる実力をつけていきたいと思っています。

ANALYST

陸上競技部 広報(メディア)

蒲生 彩水 ③年

出身高校：広島県
広島工業大学高等学校

私にとって広報とは、「びわスポ陸上競技部の魅力をさまざまな人に届ける仕事」です。広報を発信していく中で「魅力を伝える楽しさ」や「いいね数などで反応をもらえる嬉しさ」を感じ、次第に広報という仕事にやりがいを持つようになりました。将来、教員を目指している自分にとって、「支える側の視点」も必要だと感じ、今はマネージャーとして、そして広報として、選手やチームを支えることに全力を注いでいます。

PUBLICITY

男子サッカー部 トレーナー

大内 一夏 ③年

出身高校：大阪府
大阪府立北千里高等学校

男子サッカー部に所属し、選手がベストコンディションで試合に臨むことができるための体調管理やメディカル測定などを行っています。コンタクトスポーツですので、怪我はつきもの。1日でも早く復帰ができるように選手をサポートすることを心掛けています。将来は、アスレティックトレーナーに合格し、プロの世界でも活躍したいと思っています。

SUPPORT TRAINER

学友会競技スポーツ委員会(GAC)

瀧下 彩葵 ④年

出身高校：香川県
英明高等学校

学友会競技スポーツ委員会(GAC)に所属し、課外活動団体クラブをサポートする役割を担っています。部の垣根を越えて、応援し合う文化を醸成するために、毎年クラブ応援グッズの制作をしています。今回はオリジナルナップサックを作成しました。オリジナルグッズで会場を青く染め、一人でも多くの学生の声援が、各選手に届くような活動を上げられるよう、活動を続けていきます。



COMMITTEE

硬式野球部(男子) マネージャー

本林 奏美 ③年

出身高校：広島県
広島県立尾道商業高等学校

高校から硬式野球部のマネージャーを務め、大学でも初の神宮大会出場のために選手をサポートしたいと思い、マネージャーになりました。練習準備や公式戦での記録などやらなくてはならないことも多いのですが、監督や選手がプレーしやすい環境をつくるために、これからも頑張ります。

MANAGER